

事務事業分析シート（令和2年度）

No1

事務事業コード	05-04-01	戦略プラン	<input type="radio"/> 協働	<input checked="" type="radio"/> 業務	<input type="radio"/> 財務	<input type="radio"/> 人事		
事務事業名	ゆいの森あらかわ事務管理費	部課名	地域文化スポーツ部ゆいの森課	課長名	小林			
		担当者名	榊	内線	2256			
事務事業を構成する小事業名及び予算事業コード（2年度）	01-02-01	事務管理費						
事務事業の種類	<input type="radio"/> 新規事業（ <input type="radio"/> 2年度 <input type="radio"/> 元年度）		<input type="radio"/> 建設事業		<input checked="" type="radio"/> それ以外の継続事業			
開始年度	<input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成 <input type="radio"/> 令和	28 年度	根拠	荒川区立ゆいの森あらかわ条例				
終期設定	<input type="radio"/> 有 <input checked="" type="radio"/> 無	年度	法令等					
実施基準	<input type="radio"/> 法令基準内 <input type="radio"/> 都基準内 <input checked="" type="radio"/> 区独自基準		計画区分	<input type="radio"/> 計画 <input checked="" type="radio"/> 非計画				
行政評価事業体系	分野	V	文化創造都市					
	政策	10	活力ある地域コミュニティの形成					
	施策	02	地域文化とコミュニティの拠点づくり					
目的	ゆいの森あらかわの適切な維持管理により施設の長寿命化を図るとともに、魅力的かつ快適で安心・安全なサービスの充実を図る。							
対象者等	ゆいの森あらかわ利用者							
内容	【開 設】平成29年3月26日 【所 在 地】荒川区荒川2-50-1 【土地面積】4,111㎡ 【述床面積】10,944㎡ 【構 造】鉄筋コンクリート造 地上5階地下1階 【開館時間】午前9時30分～午後8時30分 【主な事業】中央図書館、吉村昭記念文学館、子どもひろば等							
経過	平成21年11月 複合施設の設置及び運営に関する懇談会の設置 平成22年 3月 複合施設の設置及び運営に関する懇談会報告書 平成23年 7月 （仮称）あらかわ二丁目複合施設基本計画策定 平成24年 3月 荒川地区都市再生整備計画策定 10月 （仮称）荒川二丁目複合施設基本設計及び展示基本設計完了 平成26年 3月 （仮称）荒川二丁目複合施設実施設計完了 10月 複合施設の建設工事着工 平成27年 2月 愛称名を「ゆいの森あらかわ」に決定、プロポーザルによりカフェ運営事業者決定 平成28年 1月 ロゴマークの決定 3月 管理運営方針の策定 6月会議 設置条例制定 平成29年 1月 竣工 3月26日 開館 平成30年 3月 テーブル・座席の増設、館内サインの追加製作							
必要性	ゆいの森あらかわの運営により、区内全体の知とコミュニティの醸成を図るため、世代や地域、目的が違う人々が集い、交流と体験を通して、知の集積や発信、新たな知的文化活動の誘発や企画が生まれる施設の必要性は高い。							
実施方法	（ <input checked="" type="radio"/> 一部委託） （直営の場合 <input type="radio"/> 常勤 <input type="radio"/> 非常勤 <input type="radio"/> 臨時職員） 設備維持管理業務委託・夜間総合受付・清掃・警備・植栽管理業務等を委託							
指 標	事務事業の成果とする指標名		指標の推移				指標に関する説明	
			29年度	30年度	元年度	2年度見込み		目標値(8年度)
	①	入館者数	690,094	707,295	697,418	440,000	758,000	ゆいの森あらかわ入館者数
	②							
③								
事務事業の分類		分類についての説明・意見等						
2年度	3年度							
推進	推進	安全・安心で快適な施設運営と設備の適正な維持管理を図っていく。						

予算・決算額等の推移		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度
予算額			-	-	181,750	178,057	178,467	180,285
決算額(2年度は見込み)			-	-	147,982	162,882	163,517	180,285
実績の推移		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度
事項名(2年度は見込み)								
修繕件数		0	0	0	3	14	20	20
予算・決算の内訳								
平成30年度(決算)			令和元年度(決算)			令和2年度(予算)		
節	主な事項	金額(千円)	節	主な事項	金額(千円)	節	主な事項	金額(千円)
旅費	近接地内外旅費	203	旅費	近接地内外旅費	299	旅費	近接地内外旅費	420
需用費	光熱水費・食糧費・一般需用費	46,289	需用費	光熱水費・食糧費・一般需用費	45,106	需用費	光熱水費・食糧費・一般需用費	49,084
役務費	電話・郵便・手数料等	6,707	役務費	電話・郵便・手数料等	6,244	役務費	電話・郵便・手数料等	9,510
委託料	施設管理に係る業務委託等	107,924	委託料	施設管理に係る業務委託等	109,660	委託料	施設管理に係る業務委託等	120,396
使用料等	トイレ衛生装置・AED賃貸借等	982	使用料等	トイレ衛生装置・AED賃貸借等	986	使用料	トイレ衛生装置・AED賃貸借等	545
備品購入費	施設に係る備品購入	724	備品購入費	家具什器購入費	1,222	その他	報償費・備品費	330
その他	報償費・補償補填及び賠償金	53						

(単位：千円)

行政コスト計算書	勘定科目				行政収入	勘定科目			
	30年度	元年度	差額	30年度		元年度	差額		
行政費用	給与関係費	22,073	17,934	▲ 4,139	地方税	0	0	0	
	物件費	161,583	160,304	▲ 1,279	国庫支出金	0	0	0	
	維持補修費	1,246	3,213	1,967	都支出金	0	0	0	
	扶助費	0	0	0	分担金及び負担金	0	0	0	
	補助費等	53	0	▲ 53	使用料及び手数料	5,320	5,219	▲ 101	
	減価償却費	256,184	256,184	0	その他	3,170	2,409	▲ 761	
	不納欠損・貸倒引当金繰入額	0	0	0	行政収入合計(a)	8,490	7,628	▲ 862	
	賞与・退職給与引当金繰入額	3,515	2,086	▲ 1,429	行政収支差額(a)-(b)=(c)	▲ 436,164	▲ 432,093	4,071	
	その他行政費用	0	0	0	金融収支差額(d)	▲ 11,866	▲ 11,425	441	
	行政費用合計(b)	444,654	439,721	▲ 4,933	通常収支差額(c)+(d)=(e)	▲ 448,030	▲ 443,518	4,512	
特別費用(g)	0	0	0	特別収入(f)	0	0	0		
特別収支差額(f)-(g)=(h)	0	0	0	当期収支差額(e)+(h)	▲ 448,030	▲ 443,518	4,512		

備考 行政費用では、給与関係費が減少した一方、維持補修費が増加した。これは、施設管理に関わる委託料及び建物修繕に関わる費用が前年度に比べ増加したためである。また、行政収入では、コロナ対策により3月より自動販売機及びカフェの営業を縮小したため、使用料収入が減少した。

- 問題点・課題
- ・利用者が安心・安全な施設の運営を実施する。
 - ・快適な環境づくりを図るとともに、設備の適正な維持管理を行う。
 - ・新型コロナウイルス感染防止策に対応した施設の新しいあり方を検討し、運営する。

問題点・課題の改善策

	令和元年度に取り組む具体的な改善内容	令和元年度に実施した改善内容および評価	令和2年度以降に取り組む具体的な改善内容
①	利用者にとって安心・安全で快適な施設運営を実施する。	施設内の修繕を実施するとともに、3月の縮小開館中は、利用者の安全を考慮した施設運営を実施した。	利用者が安心してゆいの森あらかわに来館できるよう、新型コロナウイルス感染防止に対応した施設運営を行う。
②			
③			

他区の実況	(実施 0 区 未実施 22 区 不明 0 区)
	図書館、文学館、子どものための施設が融合した、これまでにない新しいコンセプトの施設である。

議会議決要旨(要旨)	平成28年度 6月会議	成果と今後の方向性について
	平成28年度 決特	ゆいの森あらかわの周知について
	平成29年度 決特	サインの見直しについて
	平成29年度 決特	カフェの運営について
	平成29年度 予特	適切な施設管理について

事務事業分析シート（令和2年度）

No1

事務事業コード	05-04-02	戦略プラン	<input checked="" type="checkbox"/> 協働	<input type="checkbox"/> 業務	<input type="checkbox"/> 財務	<input type="checkbox"/> 人事		
事務事業名	ゆいの森あらかわ事業運営費	部課名	地域文化スポーツ部ゆいの森課	課長名	小林			
		担当者名	榊	内線	2256			
事務事業を構成する小事業名及び予算事業コード（2年度）	01-03-01	事業運営費						
事務事業の種類	<input type="checkbox"/> 新規事業（ <input type="checkbox"/> 2年度 <input type="checkbox"/> 元年度）		<input type="checkbox"/> 建設事業		<input checked="" type="checkbox"/> それ以外の継続事業			
開始年度	<input type="checkbox"/> 昭和 <input checked="" type="checkbox"/> 平成 <input type="checkbox"/> 令和	28 年度	根拠	荒川区立ゆいの森あらかわ条例				
終期設定	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	令和3 年度	法令等					
実施基準	<input type="checkbox"/> 法令基準内 <input type="checkbox"/> 都基準内 <input checked="" type="checkbox"/> 区独自基準		計画区分	<input type="checkbox"/> 計画 <input checked="" type="checkbox"/> 非計画				
行政評価事業体系	分野	V	文化創造都市					
	政策	10	活力ある地域コミュニティの形成					
	施策	02	地域文化とコミュニティの拠点づくり					
目的	生涯学習や地域コミュニティの拠点となるよう、「ゆいの森あらかわ」の中央図書館、吉村昭記念文学館、子どもひろばの3つの機能が有機的に融合した事業のほか、他部署や他機関と連携した事業及びボランティア活動の支援を展開する。							
対象者等	区民及び施設利用者							
内容	<p>【施設機能等連携イベント】 図書館、文学館、子ども施設の各機能が連携した講演会やイベント等を開催。</p> <p>【地域活動支援】 地域コミュニティの拠点として、他部署や他機関との連携を図りながら、地域住民の活動やボランティア活動を支援する。</p> <p>【他機関協働事業】 他部署や他機関と連携し、区民の方が施設に足を運ぶきっかけとなる幅広い分野にわたる魅力ある事業を展開する。</p>							
経過	<p>平成22年 3月 複合施設の設置及び運営に関する懇談会報告書</p> <p>平成23年 7月（仮称）荒川二丁目複合施設基本計画策定</p> <p>平成24年 3月 荒川地区都市再生整備計画策定</p> <p>平成28年 3月 管理運営方針の策定 6月会議 設置条例制定 12月 学びラウンジボランティア開始</p> <p>平成29年 3月26日 開館 4月～5月 開館記念イベント開催</p> <p>8月 区内事業者と連携した企画展及びアニメ上映会開催</p> <p>平成30年 1月 新春舞踊ショー・昭和写真展開催（～3月）</p> <p>3月 開館1周年記念イベント（逢坂剛氏講演会等）</p> <p>8月 来館者100万人達成</p> <p>平成31年 7月 切断ヴィーナス写真展と講演会</p> <p>令和2年 1月 来館者200万人達成</p>							
必要性	地域活動への参加や多様な体験や学習のきっかけとして事業を展開する必要がある。							
実施方法	（1直営）（直営の場合 <input checked="" type="checkbox"/> 常勤 <input checked="" type="checkbox"/> 非常勤 <input type="checkbox"/> 臨時職員）							
指 標	事務事業の成果とする指標名		指標の推移				指標に関する説明	
			29年度	30年度	元年度	2年度見込み		目標値(8年度)
	①	事業開催数（回）	332	492	514	250	500	ゆいの森で実施した事業数
	②	ボランティア活動者数	87	93	111	115	150	ゆいの森課のボランティア全体（図書館ボランティア含む）
③								
事務事業の分類		分類についての説明・意見等						
2年度		3年度						
重点的に推進		重点的に推進 地域コミュニティ及び文化推進の新たな拠点として、三つの機能の融合施設であることを生かした、様々な事業を実施するとともに、新たな文化活動を積極的に企画・発信していく。						

予算・決算額等の推移		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度
予算額			-	-	10,036	8,505	6,808	6,856
決算額 (2年度は見込み)			-	-	4,395	5,336	4,510	6,856
実績の推移		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度
事項名 (2年度は見込み)								
事業開催数 (回)				2	332	492	514	250
ボランティア活動者数				20	87	91	111	115
予算・決算の内訳		平成30年度 (決算)			令和元年度 (決算)		令和2年度 (予算)	
節	主な事項	金額 (千円)	節	主な事項	金額 (千円)	節	主な事項	金額 (千円)
報償費	イベント講師謝礼	1,062	報償費	イベント講師謝礼	630	報償費	イベント講師謝礼	1,020
需用費	消耗品費・印刷費	852	需用費	消耗品費・印刷費	604	需用費	消耗品費・印刷費	1,147
役務費	行事保険	29	役務費	展示運搬・展示保険料	10	役務費	展示運搬・展示保険料	115
委託料	企画展・グッズ制作等	3,393	委託料	企画展示制作等	3,266	委託料	企画展示制作等	3,639
						使用料	放映権	935

(単位：千円)

行政コスト計算書	勘定科目		30年度	元年度	差額	勘定科目	30年度	元年度	差額
	行政費用	給与関係費	7,045	5,380	▲ 1,665		地方税	0	0
	物件費	4,245	3,871	▲ 374	国庫支出金	0	0	0	
	維持補修費	0	0	0	都支出金	0	0	0	
	扶助費	0	0	0	分担金及び負担金	0	0	0	
	補助費等	1,091	640	▲ 451	使用料及び手数料	0	0	0	
	減価償却費	0	0	0	その他	479	458	▲ 21	
	不納欠損・貸倒引当金繰入額	0	0	0	行政収入合計(a)	479	458	▲ 21	
	賞与・退職給与引当金繰入額	1,122	626	▲ 496	行政収支差額(a)-(b)=(c)	▲ 13,024	▲ 10,059	2,965	
	その他行政費用	0	0	0	金融収支差額(d)	0	0	0	
	行政費用合計(b)	13,503	10,517	▲ 2,986	通常収支差額(c)+(d)=(e)	▲ 13,024	▲ 10,059	2,965	
	特別費用(g)	0	0	0	特別収入(f)	0	0	0	
	特別収支差額(f)-(g)=(h)	0	0	0	当期収支差額(e)+(h)	▲ 13,024	▲ 10,059	2,965	

備考 行政費用では、物件費・補助費等が減少した。これは、イベント等の実施において、開催方法を精査し、コスト削減に取り組んだためである。行政収入では、グッズの売り上げが減少したことにより、収入が減っている。

問題点・課題
 ・新型コロナウイルスの感染防止を考慮し、人数制限やイベントの内容を精査し、参加者が安心・安全に楽しめる事業を検討していく。
 ・ボランティア活動の内容を充実させ、より参加しやすい枠組みを検討する必要がある。

問題点・課題の改善策

	令和元年度に取り組む具体的な改善内容	令和元年度に実施した改善内容および評価	令和2年度以降に取り組む具体的な改善内容
①	各所管と連携したイベントや、様々な年齢層の利用者にとって魅力あるゆいの森主催のイベントを多数実施する。	日本舞踊ショーやオリパラプレイヤイベントなど、様々な層の来館者にとって魅力あるイベントを実施した。	感染症予防により、募集人数が少なくなる中、実施回数を増やすなどの取り組みを実施する。
②	コミュニティの核となるようなボランティアの養成を図る。	園芸ボランティア養成講座受講者による、ゆいの森あらかわ内での植栽コーナーを開設し、活動の幅を広げた。	園芸ボランティアとして、自主活動の場が広がる取り組みを実施する。
③			

他区の実況	(実施 0 区)		未実施 22 区		不明 0 区)	
	況(要旨)	平成28年度 予特	ボランティアについて	平成28年度 予特	オープニングイベント等について	平成28年度 決特
	平成29年度 決特	事業者と連携したイベントの実施について	平成29年度 予特	魅力あるイベントについて		

事務事業分析シート（令和2年度）

No1

事務事業コード	05-04-03	戦略プラン	<input checked="" type="checkbox"/> 協働 <input type="checkbox"/> 業務 <input type="checkbox"/> 財務 <input type="checkbox"/> 人事					
事務事業名	ゆいの森子どもひろば運営費	部課名	地域文化スポーツ部ゆいの森課		課長名	小堀		
		担当者名	榊		内線	2256		
事務事業を構成する小事業名及び予算事業コード（2年度）	01-05-01	子どもひろば運営費						
事務事業の種類	<input type="checkbox"/> 新規事業（ <input type="checkbox"/> 2年度 <input type="checkbox"/> 元年度）		<input type="checkbox"/> 建設事業		<input checked="" type="checkbox"/> それ以外の継続事業			
開始年度	<input type="checkbox"/> 昭和 <input checked="" type="checkbox"/> 平成 <input type="checkbox"/> 令和	29	年度	根拠	一時預かり実施要綱			
終期設定	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無		年度	法令等				
実施基準	<input type="checkbox"/> 法令基準内 <input type="checkbox"/> 都基準内 <input checked="" type="checkbox"/> 区独自基準		計画区分	<input type="checkbox"/> 計画 <input checked="" type="checkbox"/> 非計画				
行政評価事業体系	分野	V	文化創造都市					
	政策	10	活力ある地域コミュニティの形成					
	施策	02	地域文化とコミュニティの拠点づくり					
目的	子どもたちが多様な体験や学びによって、将来の夢を育む支援を行う。また、乳幼児とその保護者や小中学生の安全な居場所を提供する。							
対象者等	主に中学生以下の生徒、児童、乳幼児とその保護者							
内容	【乳幼児（主に遊びラウンジ）】 絵本館との融合を図りながら、雨の日でも遊べる成長に合わせた室内遊具を設置。保育士の見守りにより、簡単な育児相談も実施。 【児童、生徒（主に学びラウンジ）】 体験キットや理科実験等のワークショップを実施する他、放課後の安全な居場所を提供。 【一時預かり】 令和2年度より運営を委託から直営に変更し、区内在住の未就学児、ゆいの森利用者を対象として実施。主な運営方法の変更は、クール制から時間制（最大3時間まで）・定員5名から4名・月の利用限度は一人当たり7クールから21時間・費用1クール1,000円から1時間当たり500円（兄弟の場合、二人目以降500円から250円）							
経過	平成21年11月 複合施設の設置及び運営に関する懇談会の設置 平成23年 7月（仮称）荒川二丁目複合施設基本計画策定 平成28年 3月 管理運営方針の策定 6月会議 設置条例制定 体験キット、体験ワゴン、星空学習ソフト、デジタル地球儀など小中学生を対象とした体験事業を開発 平成29年 3月26日 開館 平成29年度 遊びタイム、子育て講座、区立小学校4年生校外学習受入、子ども星空学習実施等 平成30年度 遊びタイム（毎週2回）、子育て講座（年4回）、なかよしタイム（年2回）、4年生校外学習、子ども星空学習（星空朗読）、各種体験型ワークショップ等実施 令和元年度 遊びタイム（毎週2回）、子育て講座（年5回）、なかよしタイム（年4回）、4年生校外学習、子ども星空学習（星空朗読）、各種体験型ワークショップ等実施 令和2年度 乳幼児一時預かり直営化							
必要性	子どもたちの安全な居場所や自主的な学びの場を提供するとともに、子育て世代のコミュニティの場として活用されており、必要性は高い。							
実施方法	（ <input type="checkbox"/> 直営） （直営の場合 <input checked="" type="checkbox"/> 常勤 <input checked="" type="checkbox"/> 非常勤 <input checked="" type="checkbox"/> 臨時職員）							
指 標	事務事業の成果とする指標名		指標の推移				指標に関する説明	
			29年度	30年度	元年度	2年度見込み		目標値(8年度)
	①	遊びラウンジ利用者数（子どものみ）	39,847	34,620	28,619	22,344	39,000	
	②	体験キット貸出件数	15,262	10,811	11,178	5,681	27,000	
③	ワークショップ等参加者数	2,925	6,091	4,731	1,345	6,100	ワークショップ、校外学習の参加者	
事務事業の分類		分類についての説明・意見等						
2年度		3年度						
重点的に推進		重点的に推進 就学前の親子や小中学生の安全な居場所として遊び・学びラウンジの充実を図っていくとともに、未来を担う子どもたちに様々な体験を提供し、将来へ夢を育む場となるよう、積極的に事業を進めていく。						

予算・決算額等の推移		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度
予算額			-	-	26,634	21,427	23,160	11,560
決算額(2年度は見込み)			-	-	21,316	19,226	20,908	11,560
実績の推移		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度
事項名(2年度は見込み)								
一時預り者数(延べ人数)					2,557	3,019	2,998	1,020
体験キット等保有数(種類)					17	21	26	31
校外学習等参加者数(延べ人数)					1,451	1,486	1,442	0

予算・決算の内訳								
平成30年度(決算)			令和元年度(決算)			令和2年度(予算)		
節	主な事項	金額(千円)	節	主な事項	金額(千円)	節	主な事項	金額(千円)
賃金	臨時職員賃金	248	賃金	臨時職員賃金	911	賃金	臨時職員賃金	4,750
報償費	講師謝礼	160	報償費	講師謝礼	93	職員手当	臨時職員期末手当	874
需用費	消耗品費等	870	需用費	消耗品費等	1,769	報償費	講師謝礼	318
役務費	体験型展示通信料	65	役務費	体験型展示通信料	101	旅費	臨時職員通勤費	393
委託料	乳幼児一時預かり業務委託等	17,879	委託料	乳幼児一時預かり業務委託等	18,034	需用費	消耗品費等	1,375
使用料及び賃借料	博物館入館料	4				役務費	体験型展示通信料	103
						委託料	ワークショップ委託等	3,747

行政コスト計算書	勘定科目				行政収入	勘定科目			
	30年度	元年度	差額	30年度		元年度	差額		
行政費用	給与関係費	14,089	14,347	258	地方税	0	0	0	
	物件費	19,067	20,815	1,748	国庫支出金	3,320	3,402	82	
	維持補修費	0	0	0	都支出金	3,320	3,402	82	
	扶助費	0	0	0	分担金及び負担金	0	0	0	
	補助費等	160	93	▲67	使用料及び手数料	0	0	0	
	減価償却費	0	0	0	その他	2,846	2,776	▲70	
	不納欠損・貸倒引当金繰入額	0	0	0	行政収入合計(a)	9,486	9,580	94	
	賞与・退職給与引当金繰入額	2,244	1,669	▲575	行政収支差額(a)-(b)=(c)	▲26,074	▲27,344	▲1,270	
	その他行政費用	0	0	0	金融収支差額(d)	0	0	0	
	行政費用合計(b)	35,560	36,924	1,364	通常収支差額(c)+(d)=(e)	▲26,074	▲27,344	▲1,270	
特別費用(g)	0	0	0	特別収入(f)	0	0	0		
特別収支差額(f)-(g)=(h)	0	0	0	当期収支差額(e)+(h)	▲26,074	▲27,344	▲1,270		

備考 行政費用としては、乳幼児一時預かりの直営化に伴い、予約システムの改修を行ったことにより、物件費が増加した。行政収入としては、新型コロナウイルス感染拡大防止対策として、乳幼児一時預かりのサービスを休止したため、その他行政収入が減少した。

問題点・課題
 ・子どもたちの学びや体験の機会をさらに提供するため、幅広い分野の体験キットを制作し、豊富な品揃えとするとともに、ワークショップ等の実施回数の増加に向けて検討を行う必要がある。
 ・子育て世代がゆいの森を気軽に安心して利用してもらうため、遊びラウンジと一時預かりの新たな運営方法について広く周知を図っていく必要がある。

問題点・課題の改善策

	令和元年度に取り組む具体的な改善内容	令和元年度に実施した改善内容および評価	令和2年度以降に取り組む具体的な改善内容
①	体験キットの利用を通して、興味を持った分野の読書推進に繋がるよう、関連図書情報の提供を検討する。	関連図書のリストを体験キットの取扱説明書に加え、学びラウンジに関連図書のコーナーを設けた。	利用者の低年齢化にも対応した幅広い層で楽しめる体験キットを制作、購入する等品揃えを増やしていく。
②	一時預かりについて、午前中や閑散期の利用者増に繋がる取り組みを様々な角度から検討する。	一時預かりについて、運営方法の見直しを行い、ゆいの森の利用者にとって気軽に使いやすい仕組みに変更した。	感染症予防の徹底を図りつつ、新たな運営方法について分かりやすく丁寧に周知を行っていく。
③			

他区の実況	(実施 22 区 未実施 0 区 不明 0 区)
	遊びラウンジは、国の事業である「地域子育て支援拠点事業」に基づき実施している。

議会議事録(要旨)	<ul style="list-style-type: none"> 平成29年度 決特 乳幼児一時預かりについて 平成30年度 予特 乳幼児一時預かりについて 令和元年度 決特 乳幼児一時預かりについて
-----------	---

事務事業分析シート（令和2年度）

No1

事務事業コード	05-04-04		戦略プラン	<input checked="" type="radio"/> 協働	<input type="radio"/> 業務	<input type="radio"/> 財務	<input type="radio"/> 人事	
事務事業名	中央図書館運営費		部課名	地域文化スポーツ部ゆいの森課	課長名	小林		
			担当者名	高久	内線	2256		
事務事業を構成する小事業名及び予算事業コード（2年度）	01-04-01	中央図書館運営費						
事務事業の種類	<input type="radio"/> 新規事業（ <input type="radio"/> 2年度 <input type="radio"/> 元年度）		<input type="radio"/> 建設事業	<input checked="" type="radio"/> それ以外の継続事業				
開始年度	<input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成 <input type="radio"/> 令和	28	年度	根拠	図書館法、荒川区立ゆいの森あらかわ条例、			
終期設定	<input type="radio"/> 有 <input checked="" type="radio"/> 無		年度	法令等	荒川区立図書館条例、荒川区立図書館館則			
実施基準	<input type="radio"/> 法令基準内 <input type="radio"/> 都基準内 <input checked="" type="radio"/> 区独自基準		計画区分	<input checked="" type="radio"/> 計画 <input type="radio"/> 非計画				
行政評価事業体系	分野	V	文化創造都市					
	政策	10	活力ある地域コミュニティの形成					
	施策	03	「読書のまちづくり」の推進					
目的	図書資料や図書館オンラインシステムを充実させ、関係機関と協力して読書活動に親しむ多様な事業展開を行うことによって、子どもたちの読書環境の向上や区民の読書活動を推進し、利用者全体の課題解決や生涯学習を支援する。							
対象者等	図書館利用者、その他図書館等関係機関							
内容	<p>○多様化するニーズに応え、課題解決を支援できるよう、より専門的な資料から一般的な資料まで購入し誰でも利用しやすい環境を整え提供する。</p> <p>○30万冊規模の開架の書架等を活用した、特集コーナー等の設置やイベントでの関連図書資料の展示など、図書資料の積極的な提供を行う。</p> <p>○大規模な蔵書を効率的かつ効果的に管理し、良質なサービスを提供する。</p> <p>○絵本館、現代俳句センターなど、特徴となる資料の収集・提供を行う。特に、俳句資料については、現代俳句協会との協定に基づき、関係部署と連携しながら事業を進める。</p> <p>○「読書を愛するまち・あらかわ」宣言に基づき、地域図書館、学校図書館、街なか図書館が連携し、本が身近にあるまちづくりを進める。</p> <p>【蔵書規模】 開架30万冊、閉架30万冊</p> <p>【資料】 書籍 AV 雑誌 新聞紙</p>							
経過	<p>昭和37年 3月 荒川図書館開館</p> <p>平成5年10月 図書館オンラインシステム稼働</p> <p>平成10年 5月 南千住図書館開館</p> <p>平成18年 4月 「これからの図書館調査懇談会報告書」、「荒川区子ども読書活動推進計画」策定</p> <p>平成19年 3月 図書資料収集基準として、荒川区立図書館資料収集要綱を制定</p> <p>平成20年 7月 第1回柳田邦男絵本大賞を創設、「特色ある図書館づくり」を目指し、分担収集開始</p> <p>平成23年10月 「荒川区子ども読書活動推進計画（第二次）」策定</p> <p>平成28年 4月 「荒川区子ども読書活動推進計画（第三次）」策定、12月 荒川図書館閉館</p> <p>平成29年 2月 新図書館オンラインシステムへ変更</p> <p>3月 中央図書館開館</p> <p>平成30年 5月 「読書を愛するまち・あらかわ」宣言</p>							
必要性	多様化するニーズと課題に対応し、区民の読書活動及び生涯学習等、生涯に渡り学ぶことによって、自ら課題を解決することができる環境づくりに必要な事業である。							
実施方法	<p>（<input type="radio"/> 一部委託 <input checked="" type="radio"/> ） （直営の場合 <input type="radio"/> 常勤 <input type="radio"/> 非常勤 <input type="radio"/> 臨時職員）</p> <p>図書館オンラインシステム機器保守委託、図書装備委託など</p>							
指 標	事務事業の成果とする指標名		指標の推移				指標に関する説明	
			29年度	30年度	元年度	2年度見込み		目標値(8年度)
	①	区民1人当たりの蔵書冊数(点)	4.22	4.33	4.32	4.35	4.80	(全館)蔵書点数÷住基人口
	②	区民1人当たり個人総貸出点数(点)	9.64	9.73	9.19	7.46	10.00	(全館)貸出点数÷住基人口
③	個人登録者数(人)	80,495	91,743	78,506	83,000	130,000	(全館)4月1日現在	
事務事業の分類		分類についての説明・意見等						
2年度		3年度						
重点的に推進		重点的に推進						
「読書を愛するまち・あらかわ」の実現に向け、図書館サービスについて周知し、活用してもらう必要があるため、重点的に推進する。								

予算・決算額等の推移	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度
予算額		-	-	136,150	135,861	143,584	149,673
決算額 (2年度は見込み)		-	-	123,564	130,022	132,219	149,673
実績の推移	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度
事項名 (2年度は見込み)							
入館者数 (人) ※中央館のみ			15,991	690,094	707,295	697,418	440,000
個人総貸出点数 (点) ※			15,115	764,205	764,510	727,666	615,000
特集コーナー設置数 (回) ※			7	73	166	210	167
おはなし会開催回数 (回) ※			0	69	71	65	45

予算・決算の内訳								
平成30年度 (決算)			令和元年度 (決算)			令和2年度 (予算)		
節	主な事項	金額 (千円)	節	主な事項	金額 (千円)	節	主な事項	金額 (千円)
賃金	臨時職員賃金	5,907	賃金	臨時職員賃金	11,065	報酬	臨時職員報酬等	13,660
報償費	各種講座講師謝礼	1,347	報償費	各種講座講師謝礼	1,994	報償費	各種講座講師謝礼	1,593
需用費	図書資料購入費等	45,656	需用費	図書資料購入費等	48,530	需用費	図書資料購入費等	51,412
役務費	配本車運行料等	13,026	役務費	配本車運行料等	13,547	役務費	配本車運行料等	14,862
委託料	図書館オンラインシステム機器保守委託等	35,891	委託料	図書館オンラインシステム機器保守委託等	29,129	委託料	図書館オンラインシステム機器保守委託等	35,942
使用料及び賃借料	図書館オンラインシステム機器賃借料等	27,007	使用料及び賃借料	図書館オンラインシステム機器賃借料等	27,246	使用料及び賃借料	図書館オンラインシステム機器賃借料等	28,116
備品購入費	備品購入費	230	備品購入費	備品購入費	578	備品購入費	備品購入費	200

行政コスト計算書	勘定科目				行政収入	勘定科目			
	30年度	元年度	差額	30年度		元年度	差額		
行政費用	給与関係費	78,990	79,083	93	地方税	0	0	0	
	物件費	128,538	130,070	1,532	国庫支出金	0	0	0	
	維持補修費	0	0	0	都支出金	0	0	0	
	扶助費	0	0	0	分担金及び負担金	0	0	0	
	補助費等	1,484	2,149	665	使用料及び手数料	0	0	0	
	減価償却費	0	0	0	その他	0	500	500	
	不納欠損・貸倒引当金繰入額	0	0	0	行政収入合計(a)	0	500	500	
	賞与・退職給与引当金繰入額	12,579	9,198	▲ 3,381	行政収支差額(a)-(b)=(c)	▲ 221,591	▲ 220,000	1,591	
	その他行政費用	0	0	0	金融収支差額(d)	0	0	0	
	行政費用合計(b)	221,591	220,500	▲ 1,091	通常収支差額(c)+(d)=(e)	▲ 221,591	▲ 220,000	1,591	
特別費用(g)	0	0	0	特別収入(f)	0	0	0		
特別収支差額(f)-(g)=(h)	0	0	0	当期収支差額(e)+(h)	▲ 221,591	▲ 220,000	1,591		

備考 行政費用では、物件費、補助費等が前年度に比べ増加した。これは、カウンター業務補助のための臨時職員賃金が前年度に比べ増加したためである。行政収入は、子ども読書推進のための寄付金があり、前年度に比べて増加した。

- 問題点・課題
- ・多様化するニーズを的確に把握し、充実した図書館サービスを提供する必要がある。
 - ・中央館と地域館との適切な役割分担を図り、各々特色ある図書館を運営していく必要がある。
 - ・館外視察や企画運営力向上のための研修の実施など、職員の能力向上を図っていく必要がある。
 - ・図書館におけるボランティア活動のさらなる充実を図っていく必要がある。
 - ・利用者の利便性向上や効率的なサービス提供を図るため、システム更改時に見直しをする必要がある。
 - ・子どもの読書活動をより一層推進していくため、効果的な事業を実施していく必要がある。

問題点・課題の改善策

	令和元年度に取り組む具体的な改善内容	令和元年度に実施した改善内容および評価	令和2年度以降に取り組む具体的な改善内容
①	「読書を愛するまち・あらかわ」宣言に基づき、イベントなど様々な事業を行うことで、より一層の読書活動の推進を図る。	絵本原画展や体験事業、参加型イベントを開催するとともに、他部署とも連携し、幅広い世代の区民が読書に親しむ環境の整備に努めた。	「読書を愛するまち・あらかわ」宣言とその取組を広く周知するため、効果的な事業を行うとともに他部署との連携も推進する。
②	—	新型コロナウイルス感染拡大防止を配慮しつつ、自宅での読書にお勧めの本のセットを作成する等の読書活動推進サービスを提供した。	感染症対策を施した事業を実施しつつ、朗読の動画配信や本の郵送貸出等来館せずに読書を楽しめるサービスの提供に努めていく。
③	本の修理や配架など図書館業務における幅広いボランティア養成講座を開催し、地域と連携し住民参加を促進していく。	既存の音訳やおはなしボランティア等に加え、新たに修理ボランティア講座を開催し、区民が携わる図書館業務の拡充を図った。	各種講座の開催、交流の場の提供等ボランティアの継続的な活動を支援することで、より地域に根差した図書館づくりを進める。

他区の実況 (実施 22 区 未実施 0 区 不明 0 区)
中央図書館については全区が設置し、子ども読書推進計画の策定、図書館オンラインシステムが導入されている。

議会要旨
・平成30年度 9月会議 ゆいの森あらかわのさらなる事業の充実について
・平成30年度 9月特 びじねす相談・地域資料・人気本(予約多数本)の寄贈について
・令和元年度 決特 図書の弁償・図書資料費・障がい者支援・図書館機能の周知について
・令和元年度 9月特 絵本大賞・読書を愛するまち・あらかわの推進について

事務事業分析シート（令和2年度）

No1

事務事業コード	05-04-05	戦略プラン	<input checked="" type="checkbox"/> 協働	<input type="checkbox"/> 業務	<input type="checkbox"/> 財務	<input type="checkbox"/> 人事		
事務事業名	吉村昭記念文学館推進事業運営費	部課名	地域文化スポーツ部ゆいの森課	課長名	小林			
		担当者名	田邊	内線	2256			
事務事業を構成する小事業名及び予算事業コード（2年度）	01-06-01	吉村昭記念文学館運営費						
事務事業の種類	<input type="checkbox"/> 新規事業（ <input type="checkbox"/> 2年度 <input type="checkbox"/> 元年度）		<input type="checkbox"/> 建設事業		<input checked="" type="checkbox"/> それ以外の継続事業			
開始年度	<input type="checkbox"/> 昭和 <input checked="" type="checkbox"/> 平成 <input type="checkbox"/> 令和	18年度	根拠	荒川区立ゆいの森あらかわ条例				
終期設定	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	年度	法令等					
実施基準	<input type="checkbox"/> 法令基準内 <input type="checkbox"/> 都基準内 <input checked="" type="checkbox"/> 区独自基準		計画区分	<input type="checkbox"/> 計画 <input checked="" type="checkbox"/> 非計画				
行政評価事業体系	分野	V	文化創造都市					
	政策	10	活力ある地域コミュニティの形成					
	施策	02	地域文化とコミュニティの拠点づくり					
目的	郷土を代表する作家・吉村昭氏及び吉村氏に関連のある作家に関する資料の収集、研究等を行うとともに、同氏の作品等を基盤とした幅広い文化活動を展開することにより、区民の心を育み、区の文化振興に寄与する。							
対象者等	区民等							
内容	<p>○吉村氏に関する資料の収集、整理、保管及びその研究</p> <p>○企画展示の計画、展示物の製作などの展示活動</p> <p>○講演会や吉村氏・津村氏とゆかりのある地との連携等を通じた、吉村氏と同氏の作品の普及啓発</p> <p>○文学館が地域文化の醸成に貢献できるよう友の会の運営</p> <p>○ホームページ等での広報</p> <p>文学館エリア：約540㎡（ゆいの森あらかわ2階・3階の一部、復元書斎を含む）</p> <p>入館料：無料</p>							
経過	<p>平成4年5月 吉村昭氏区民栄誉賞受賞 区役所1階で作品展開催 日暮里図書館吉村昭コーナー設置</p> <p>平成18年7月 吉村昭氏逝去(31日)</p> <p>平成27年3月 吉村昭記念文学館友の会設立</p> <p>平成29年3月 吉村昭記念文学館開館・開館記念企画展開催（7月まで）、7月日本文藝家協会共催事業</p> <p>10月第2回企画展開催（12月まで）、11月おしどり文学館協定締結式（5日）、3月落語会（学習院大学落語研究会）</p> <p>平成30年6月 瀬尾まなほ氏講演会、10月企画展(12月まで)、11月おしどり1周年講演会、朗読会</p> <p>平成31年3月 落語会</p> <p>令和1年10月 企画展「海も暮れきる」（12月まで）、朗読会（橋爪功氏）、11月おしどり2周年講演会（出久根達郎氏）</p>							
必要性	吉村氏の功績を後世に伝えるとともに、吉村作品を通してさらに広範な文学の世界に触れる機会を広く区民に向けて提供することで、区における文化の醸成や区のPRにも寄与することから、必要性は非常に高い。							
実施方法	<p>（1直営）（直営の場合 <input checked="" type="checkbox"/> 常勤 <input checked="" type="checkbox"/> 非常勤 <input checked="" type="checkbox"/> 臨時職員）</p> <p>文学館の運営に当たっては、学芸員の資格を有する専門の会計年度任用職員を採用して実施するとともに、専門家の御意見も伺いながら進める。展示製作業務、デジタル写真撮影業務等を委託</p>							
指 標	事務事業の成果とする指標名		指標の推移				指標に関する説明	
			29年度	30年度	元年度	2年度見込み		目標値(8年度)
	①	文学館来館者数（人）		39,638	53,584	32,000	70,000	平成30年8月1日より集計開始
	②	事業の参加人数（人）	683	678	663	250	800	イベントや講演会等の参加者人数
③	文学館友の会会員数（人）	404	359	397	450	650	吉村氏の功績や作品を広く周知するための指標	
事務事業の分類		分類についての説明・意見等						
2年度		3年度						
重点的に推進	重点的に推進	企画展の開催や友の会の運営を通して吉村文学を生んだ荒川区の魅力を区内外に広く発信するとともに、地域文化の醸成を図る事業であるため、重点的に推進する。						

予算・決算額等の推移	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度
予算額		-	-	24,263	23,438	22,971	20,980
決算額 (2年度は見込み)		-	-	15,780	16,087	18,531	20,980
実績の推移	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度
事項名 (2年度は見込み)							
文学館来館者数 (人)	-	-	-	-	39,638	53,584	32,000
事業の参加者人数 (人)	160	235	506	683	678	663	250
文学館友の会会員数 (人)	200	350	735	404	359	397	450

予算・決算の内訳								
平成30年度 (決算)			令和元年度 (決算)			令和2年度 (予算)		
節	主な事項	金額 (千円)	節	主な事項	金額 (千円)	節	主な事項	金額 (千円)
報償費	図録監修等謝礼、講師謝礼	824	報償費	企画展等講演会謝礼	438	報償費	企画展等講演会謝礼	1,406
需用費	資料購入、印刷製本	1,915	需用費	資料購入、印刷製本	1,948	需用費	資料購入、印刷製本	2,819
役務費	展示資料等運搬費	3,447	役務費	展示資料等運搬費	3,233	役務費	展示資料等運搬費	5,073
委託料	企画展展示製作物等	8,767	委託料	企画展展示製作物等	11,946	委託料	企画展展示製作物等	9,450
使用料	著作権使用料	779	使用料	著作権使用料	400	使用料	著作権使用料	645
備品購入費	運営用備品購入	82	備品購入費	直筆原稿等購入費	360	備品購入費	直筆原稿等購入費	519
賃金等	臨時職員賃金、研修受講費	233	賃金等	臨時職員賃金、研修受講費	206	報酬等	臨時職員報酬、負担金等	1,068

行政コスト計算書	勘定科目				行政収入	勘定科目			
	30年度	元年度	差額	30年度		元年度	差額		
行政費用	給与関係費	18,785	17,934	▲ 851	地方税	0	0	0	
	物件費	15,086	14,989	▲ 97	国庫支出金	0	0	0	
	維持補修費	0	0	0	都支出金	0	0	0	
	扶助費	0	0	0	分担金及び負担金	0	0	0	
	補助費等	1,001	596	▲ 405	使用料及び手数料	0	15	15	
	減価償却費	0	0	0	その他	1,029	982	▲ 47	
	不納欠損・貸倒引当金繰入額	0	0	0	行政収入合計(a)	1,029	997	▲ 32	
	賞与・退職給与引当金繰入額	2,992	2,086	▲ 906	行政収支差額(a)-(b)=(c)	▲ 36,835	▲ 34,608	2,227	
	その他行政費用	0	0	0	金融収支差額(d)	0	0	0	
	行政費用合計(b)	37,864	35,605	▲ 2,259	通常収支差額(c)+(d)=(e)	▲ 36,835	▲ 34,608	2,227	
特別費用(g)	0	0	0	特別収入(f)	0	0	0		
特別収支差額(f)-(g)=(h)	0	0	0	当期収支差額(e)+(h)	▲ 36,835	▲ 34,608	2,227		

備考 行政費用については、報償費としての補助費、給与関係費、賞与・退職給与引当金繰入額等が減少した。行政収入については、指定寄付金の収入が減少した。

問題点・課題
 ・来館者の増加を図るため、ゆいの森全体での連携を強化するとともに、福井県ふるさと文学館をはじめとして、他館、他自治体との連携も充実させていく必要がある。
 ・友の会会員に向けた限定・優先募集のイベント実施等、グッズ以外の特典の充実を図り会員満足度を高める必要がある。
 ・既存の展示方法やPR方法を見直し、特に若者を中心に新たな客層を呼び込むための取り組みが必要。

問題点・課題の改善策

	令和元年度に取り組む具体的な改善内容	令和元年度に実施した改善内容および評価	令和2年度以降に取り組む具体的な改善内容
①	実態の分析を進めるとともに、展示等の更なる充実や、積極的な情報発信に取組み、来館者の増加を図る。	来館者の実態を分析し、吉村昭関連連映像の上映会など、来館者の増加に向けた取り組みを行った。	ゆいの森における連携の強化に加え、展示において関連自治体を紹介する等、他館や他自治体との連携も充実させる。
②	納付方法や会員サービスの見直し、充実を図ると共に、新規会員獲得のためのPR方法を検討し、会員数増に努める。	PRやキャンペーンを積極的に実施し新規会員が増加した。会員優先募集の事業や3年会員の創設等サービスや利便性を向上させた。	魅力的なグッズ制作の他、会員限定・優先募集の事業の実施等を充実させ会員満足度向上を図る。
③	吉村氏や吉村作品に更に関心を高めてもらえるよう、多様なテーマのイベントの企画や、ホームページでの情報発信の充実を図る。	HPやSNS、広報紙の内容や発信回数に充実を努めた。併せて、著名人による朗読会や講演会を開催し、吉村作品の魅力を発信した。	ウェブ上の展示や撮影スポットの設置によるSNS発信の仕掛けを作る等、若者等新たな客層を呼び込む取り組みを実施する。

他区の実況	(実施 9 区 未実施 13 区 不明 0 区)
文学館設置区	港区、新宿区、文京区、台東区、大田区、世田谷区、渋谷区、北区、練馬区

議会(要旨)状況
 ・平成18年 三定 記念館の設置要望について
 ・平成23年 四定 文学館開館に向けた事前周知について
 ・平成26年度 予特 友の会の設立について
 ・平成27年度 予特 文学館の開館後のイベントについて
 ・平成29年度 決特 文学館の周知、友の会、上映会について